

# 日本薬学会 医薬化学部会 創薬人育成事業（北海道地区）



日時：2026年6月22日（月） 14:45～16:15  
場所：北海道大学薬学部（臨床講義室）

## 抗菌薬研究開発の歴史と薬剤耐性 （AMR）に対する創薬の展望 （Meiji Seikaファルマ） 岡出隼人先生

1928年、英国の細菌学者アレクサンダー・フレミングにより、世界初の抗生物質であるペニシリンが発見された。その後、数多くの抗菌薬が開発・上市され、細菌感染症は制圧されるかに思われた。しかし一方で、これは薬剤耐性菌（AMR）時代の始まりでもあり、現在では有効な治療薬を失いつつあるという地球規模の危機に直面している。本講演では、ペニシリン発見から現在に至るまでの抗菌薬開発の歴史とAMRの出現、世界的なAMR対策アクションプラン、さらにAMR時代における創薬の動向について、最新の知見を交えて解説する。

本講演会は2年生向け講義「薬学概論」を兼ねて実施します。  
専門分野に関わらず多数のご参加をお待ちしております。参  
参加費：無料

問い合わせ先：北海道大学大学院薬学研究院 市川 聡  
〒060-0812 北海道札幌市北区北12条西6丁目  
電話：011-706-3228  
E-メール：ichikawa@pharm.hokudai.ac.jp

